

平成18年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成18年12月4日(月)～5日(火)に東京ガーデンパレスにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者44名、委託関係者39名ほか、計111名の参集を得て、除草剤の作用性試験11薬剤、適用性試験30

薬剤、及び生育調節剤作用性試験1剤、適用性試験4剤について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成18年度 畑作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注1) アンダーラインは拡大部分 注2) 作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

A.除草剤										
薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1. AC-263液 イマザモックスアンモニウム塩 0.85% [BASFアグロ]	小豆	—								(作用性)
2. AH-01液 (S)-2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィニル]ブタン酸ナトリウム塩 10.5% [明治製薬]	小豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	継								・効果、薬害の確認
	かんしょ	継								・効果、薬害の確認
	ばれいしょ	実	一年生雑草	茎葉	植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下)	100～200mL <水量100～150L>	全土壌	全域		
	こんにゃく	継								・効果、薬害の確認
	そば	—								(作用性)
		継								・効果、薬害の確認
3. AL-513乳 アラクロール 30%、 リニクロン 12% [日産化学工業、 デューボン]	大豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	—								(作用性)
	とうもろこし	—								(作用性)
	ばれいしょ	—								(作用性)
4. ANK-553乳 ベンデメタリン 30% [BASFアグロ]	春播小麦	実	一年生雑草(キ科、 ツユクサを除く)	土壌	播種後～小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで)	300～500mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域		
5. BAS-3510(Na)L液 ペンタゾン(ナトリウム塩) 40% (大豆ハサグラン) [BASFアグロ]	大豆	実・継	一年生広葉雑草	茎葉	大豆2葉期～開花前 広葉雑草生育初期(6葉期まで)	100～150mL <水量100L>	全土壌	全域	1)気象条件によっては一過性の薬害を生じることがある 2)品種によっては薬害により減収する場合があるので、使用にあたっては使用前に公的指導機関の指導を受けること 3)アザミ科、ヒユ類、トウダイグサ科等には効果が劣る 4)体系処理:イネ科雑草に有効な除草剤を使用する	・高薬量での畦間茎葉処理について、効果、薬害の確認
	菜豆	実・継	一年生広葉雑草	茎葉	菜豆初生葉展開期～本葉抽出始期	50～120mL <水量100L>	全土壌	北海道	1)薬害により5%程度減収する場合がある 2)イネ科に有効な土壌処理剤と組合せ 3)大正金時に限定	・大正金時以外の品種での、効果、薬害の確認

A. 除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
7. BAS-656乳 シメタナド-p 720g/L [BASFアグロ]	てんさい (移植)	継								・効果、薬害の確認
8. CG-119乳 メトラロール 45% [シンジェンタ ジャパン]	てんさい (直播)	実	一年生イネ科雑草	土壌	出芽揃 雑草発生前	200～300mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域	1)イネ科雑草優占圃場で使用する	
	てんさい (移植)				移植後 雑草発生前					
9. CG-119α乳 S-メトラロール 82% [シンジェンタ ジャパン]	とうもろこし、飼料用 とうもろこし	実・継	一年生イネ科雑草	土壌	播種後 雑草発生前	70～100mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	北海道 東北以南	1)広葉雑草(特にアカサ科)には効果が劣るので、イネ科雑草優占圃場で使用すること 2)有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定範囲内で多めの薬量を散布する	・北海道での処理時期拡大について
			一年生雑草			70～130mL <水量100L>				
10. DCMU水和 DCMU 78.5%[デュボン]	さとうきび (株出) (春植) (夏植)	実・継	一年生雑草	土壌	植付覆土後または培土後	100～150g <水量70～100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域		・生育期処理での低薬量化、対象草種および効果、薬害の検討
			一年生広葉雑草、アワユキセンダングサ、ムラサキカタバミ			茎葉			生育期 雑草生育期(草丈15cm以下)	100～150g <水量100L>
11. DPX-16顆粒水和 チフェンスフロメチル 75% [デュボン]	大豆	一								(作用性)
		継								・対象草種および効果、薬害の確認
12. DPX-16顆粒水和+ BAS-3510(Na)L液 チフェンスフロメチル 75%、 ヘンタゾン 40% [デュボン]	春播小麦	実	一年生広葉雑草	茎葉	幼穂形成期(小麦5葉期、雑草3～5葉期)	DPX: 3～5g+ BAS: 100mL <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	北海道	1)使用時に混用する	
13. JHY-501水溶 シアン酸トリウム 80% [大塚化学]	ばれいしょ	実・継	一年生広葉雑草、ヒシバ	茎葉(畦間)	生育期 雑草生育期	3～4kg <水量100L>	全土壌	全域(北海道を除く)	1)作物に飛散しないように散布する 2)雑草の草丈20cm以下で散布する	・イネ科雑草に対する効果の確認
14. Hoe-866液 グルホシネート 18.5% [バイエル クロップサイエンス]	大豆	一								(作用性)
		実	一年生雑草	茎葉(畦間)	生育期 雑草生育期	300～500mL <水量100～150L>	全土壌	全域(北海道を除く)	1)作物に飛散しないように散布する 2)雑草の草丈30cm以下で散布する	
	小豆	一								(作用性)
	菜豆	一								(作用性)
	そば	継								・効果、薬害の確認
15. KUH-043顆粒水和 3-[(5-シフルオロメキシ-1-メチル-3-トリフルオロメチルビラゾール-4-イル)-メチルスルホニル]-4,5-ジヒドロ-5,5-シメチルイソキサゾール 50% [クマイ化学工業]	大豆	実	一年生雑草	土壌	播種後 雑草発生前	20～40g <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	北海道		
	とうもろこし、飼料用 とうもろこし	実	一年生雑草	土壌	播種後 雑草発生前	20～40g <水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	北海道		
16. MCP-Na液 MCPAナトリウム塩 19.5% [2,4D協議会]	春播小麦	実・継	一年生広葉雑草	茎葉	春播小麦5葉期	200～300g <水量70～100L>	全土壌	北海道～北陸		・水量25L/10aでの効果、薬害の確認

A.除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用規準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
17. MON-96A液 グリホサートアンモニウム 塩 41% [日産化学工業]	てんさい (移植)	—								(作用性)
18. MW-851液 ピアラホス 18% [ハービー普及会]	大豆	実・ 継	一年生雑 草	茎葉 (畦間)	生育期 雑 草生育期	300～ 500mL ＜水量100 ～150L＞	全土壌	全域 (北海道を 除く)	1)作物に飛散しないように 散布する 2)雑草の草丈20cm以下で 散布する	・北海道での効果、 薬害の確認
19. MW-851液 ピアラホス 18% [明治製菓]										
20. NBA-961顆 粒水和 メタミロン 70% [北海三共、マガン・ ジャパン、日産化学 工業]	てんさい (直播)	実・ 継	一年生広 葉雑草	茎葉	てんさい2葉 期以降 (雑草発生始 ～揃)	250～350g ＜水量 100L＞	全土壌	全域	1)シロサ、ハコベは葉齢が進 むと効果が劣る場合がある	・水量50L/10aでの 効果、薬害の確認
21. NC-3607フ ァブル キサノホップエチル 7% [日産化学工業]	ばれいしよ	実・ 継	一年生イ ネ科雑草(ス メノカタビラを 除く)	茎葉	生育期 雑 草生育期(イ ネ科雑草3～ 8葉期)	200～300g ＜水量 100L＞	全土壌	北海道	1)体系処理;広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用す る	・東北以南での効 果、薬害の確認
22. NC-362水和 ジフルフェニカン 4%、 IPC 30% [日産化学工業]	春播小麦	継								・効果、薬害の確認
23. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	大豆	実	一年生雑 草	茎葉	耕起または 播種前 雑 草生育期(草 丈30cm以 下)	200～ 500mL ＜水量25～ 100＞	全土壌	全域 (北海道を 除く)	1)少水量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使用 する	
				播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)						
				茎葉 (畦間)	生育期 雑 草生育期				1)作物に飛散しないように 散布する 2)少水量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使用 する 3)雑草の草丈30cm以下で 散布する	
	飼料用とう もろこし	実・ 継	雑草全般 (スギナを除 く)	茎葉	播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	200～ 500mL ＜水量25～ 100＞	全土壌	全域 (北海道を 除く)	1)少水量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使用 する	・低薬量かつ低水量 での、年次変動の確認 ・暖地でのイネ科雑 草に対する効果の年 次変動の確認
	かんしよ	実・ 継	一年生雑 草全般	茎葉	耕起または 播種5日前 雑草生育期 (草丈30cm 以下)	200～ 500mL ＜水量25～ 100＞	全土壌	全域	1)少水量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使用 する	・播苗直前での薬害 の確認
	ばれいしよ	継								・効果、薬害の確認
	てんさい (移植)	—								(作用性)
	さとうきび (耕起または 植付前)	継								・効果、薬害の確認
さとうきび (畦間処理)	継								・効果、薬害の確認 ・処理時期について	
さとうきび (周縁)	継								・効果、薬害の確認	
そば	継								・効果、薬害の確認	

A. 除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判 定	使用標準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
24. NP-55乳 セトキシム 20% [日本曹達]	大豆	—								(作用性)
	小豆	—								(作用性)
	菜豆	—								(作用性)
	ばれいしょ	—								(作用性)
	てんさい (直播)	継								・効果、薬害の確認
25. SL-236(L)乳 フルアジホップPブチル 17.5% [石原産業]	大豆	実・ 継	一年生イネ 科雑草(ス ズメノカタビラ を除く)	茎葉	生育期 イネ 科雑草(3～5 葉期)	75～ 100mL <水量70～ 100L>	全土壌	全域	1)イネ科雑草優占圃場で使用 する 2)体系処理:広葉雑草対 象の既登録土壌処理剤を 使用する	
					生育期 イネ 科雑草(5～8 葉期)	100～ 200mL <水量70～ 100L>		全域 (北海道を 除く)		・北海道での効果、 薬害の確認 ・東北以南での年次 変動の確認
	ばれいしょ	—								(作用性)
	てんさい	実	一年生イネ 科雑草(ス ズメノカタビラ を除く)	茎葉	てんさい本葉 4葉期以降 イネ科雑草3 ～5葉期	75～ 100mL <水量25～ 100L>	全土壌	全域	1)イネ科雑草優占圃場で使用 する 2)体系処理:広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用す る 3)少水量散布の場合は専 用ノズルを使用する	
26. SYI-100乳 プロスルホカルブ 78.4%(800g/L) [シンジエンタ ジャパ ン]	とうもろこ し、飼料用 とうもろこし	実・ 継	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前 雑草発 生前	400～ 500mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	北海道		・東北以南での効 果、薬害の確認
	ばれいしょ	実・ 継	一年生雑 草	土壌	植付後萌芽 前 雑草発 生前	400～ 500mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	北海道		・東北以南での効 果、薬害の確認
27. SYI-171液 パラコートジクロリド 12.4%(100g/L) [シンジエンタ ジャパ ン]	大豆	実・ 継	一年生雑 草	茎葉 (畦間)	生育期 雑 草生育期	500～ 1000mL <水量100 ～150L>	全土壌	全域 (北海道を 除く)	1)作物に飛散しないように 散布する 2)雑草の草丈30cm以下で 使用する	・耕起前又は播種 前、播種後出芽前処 理での効果、薬害の 確認
	小豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	継								・効果、薬害の確認
	とうもろこし	継								・効果、薬害の確認
	ばれいしょ	継								・効果、薬害の確認
	さとうきび (畦間)	継								・効果、薬害の確認 ・処理時期について
	さとうきび (周縁)	継								・効果、薬害の確認
28. SYJ-19170ア ブル アトラジン 500g/L、 メトリオン 50g/L [シンジエンタ ジャパ ン]	とうもろこし	—								(作用性)

A.除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判 定	使用規準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
29. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シンシエンタ ジャパ ン]	大豆	実・ 継	一年生雑 草	茎葉 (畦間)	生育期 雑 草生育期	250～ 500mL <水量25～ 50L>	全土壌	全域 (北海道を 除く)	1)作物に飛散しないように 散布する 2)専用ノズルを使用する 3)雑草の草丈30cm以下で 使用する	・低薬量かつ低水量 での、効果の年次変 動の確認
	小豆	継								・効果、薬害の確認
	菜豆	継								・効果、薬害の確認
	飼料用とう もろこし	実・ 継	雑草全般 (スキナを除 く)	茎葉	播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	200～ 500mL <水量25～ 50L>	全土壌	全域 (北海道を 除く)	1)専用ノズルを使用する	・低薬量かつ低水量 での、効果の年次変 動の確認 ・暖地のイネ科雑草 に対する、効果の年 次変動の確認
	ばれいしょ	継								・効果、薬害の確認
	陸稲	継								・効果、薬害の確認
	そば	実	雑草全般 (スキナを除 く)	茎葉	耕起または 播種前 雑 草生育期(草 丈30cm以下)	250～ 500mL <水量25～ 50L>	全土壌	全域	1)専用ノズルを使用する	
	ひえ	継								・効果、薬害の確認
ホップ	継								・効果、薬害の確認	
30. アラクロール乳 アラクロール 43% [日産化学工業、 日本農薬]	とうもろこ し、飼料用 とうもろこし	実・ 継	一年生イ ネ科雑草	土壌	播種後～出 芽前	200～ 400mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	寒地	1)イネ科雑草優占圃場で使 用する	・生育期処理での効 果、薬害の確認
					播種後	200～ 600mL <水量 100L>		寒冷地		
						300～ 600mL <水量 100L>	火山灰	温暖地、 暖地		
31. トリフルアリン乳 トリフルアリン 44.5% [ダウ・ケミカル日本]	大豆	実・ 継	一年生雑 草(キ科、 アブラナ科、 カヤツリグサ 科、ツユクサ を除く)	土壌	播種後出芽 前 雑草発 生前	200～ 300mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・中耕培土後の、畦 間・株間処理への拡 大について
	大豆 (移植)	実・ 継	一年生雑 草(キ科、 アブラナ科、 カヤツリグサ 科、ツユクサ を除く)	土壌	定植前植穴 掘前 雑草 発生前	200～ 300mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・定植前植穴掘前処 理での年次変動の 確認 ・中耕培土後の、畦 間・株間処理への拡 大について
	かんしょ(マ ルチ)	実・ 継	一年生雑 草(キ科、 アブラナ科、 カヤツリグサ 科、ツユクサ を除く)	土壌	植付前マルチ 前 雑草発 生前	200～ 300mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・効果、薬害の年次 変動の確認
	大豆	実・ 継	一年生雑 草(キ科、 アブラナ科、 カヤツリグサ 科、ツユクサ を除く)	土壌 (畦間)	中耕培土後 雑草発生前	4～6kg	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・畦間・株間処理へ の拡大について
32. トリフルアリン粒 トリフルアリン 2.5% [ダウ・ケミカル日本]	大豆	実・ 継	一年生雑 草(キ科、 アブラナ科、 カヤツリグサ 科、ツユクサ を除く)	土壌 (畦間)	中耕培土後 雑草発生前	4～6kg	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・畦間・株間処理へ の拡大について
	大豆 (移植)	実・ 継	一年生雑 草(キ科、 アブラナ科、 カヤツリグサ 科、ツユクサ を除く)	土壌 (畦間)	中耕培土後 雑草発生前	4～6kg	全土壌 (砂土を除 く)	全域		・畦間・株間処理へ の拡大について

A. 除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)作物名のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用標準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
33. リニロン水和 リニロン 50% [デュボン]	大豆	—								(作用性)
		実・ 継	一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌 (畦間・ 株間)	生育期(本葉 3葉期以降) 雑草生育期 (草丈15cm 以下)	100～200g <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全城 (北海道を除く)	1)専用ノズルを使用する。 2)噴口はできるだけ低く し、本葉にかからないよう に散布する	・効果、薬害の年次 変動の確認
	ばれいしょ	実	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	植付直後～ 萌芽前 雑 草発生始期	100～200g <水量70～ 150L>	全土壌 (砂土を除 く)	北海道	1)イネ科雑草防除には展着 剤を加用する。	
				土壌	植付直後～ 萌芽前			全城東北 以南		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用標準							継続の内容
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. AH-01液 (S)-2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィ ル]ブタン酸ナトリウム 塩 10.5% [明治製菓]	ばれいしょ	実・ 継	茎葉枯凋 促進効果	茎葉	茎葉黄変始 期～黄変期	100～ 200mL <水量 100L>	全土壌	北海道		・次年度の萌芽性の 確認
2. F-8426EO カルフェントラゾンエチル 60g/L [石原産業]	ばれいしょ	実	茎葉枯凋 促進効果	茎葉	開花始30日 以降(茎葉繁 茂期) (2回処理)	200mL→ 150～ 200mL <水量 100L>	全土壌	北海道	1)少水量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使用 する	
					茎葉黄変始 期～黄変期	150～ 300mL <水量25～ 100L>				
3. NGR-303粒 イソプロチオラン 12% [日本農薬]	かんしょ	実・ 継	鮮紅色促 進	土壌混 和	植付前	4～6kg		全域		・発根促進効果の確 認
4. S-327D液 ウニナゾールP 0.025% [住友化学]	てんさい (移植)	実	育苗期の 伸長抑制	茎葉 (噴霧 処理)	本葉抽出期 (本葉長2mm 以上)～移植 2週間前	10～20倍 <水量 50mL/冊>	全土壌	全域		
				茎葉 (灌水 処理)		100倍 <水量 500mL/冊 >				
5. VST-16液 酵母エキス 32.5% [アクリホ]	ばれいしょ (男爵)	—								(作用性)